

1 東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた取組み

- 東日本大震災で被災した病院の再建や被災した職員の生活環境の整備を行うとともに、災害時における対策を進めます。

** 重点取組項目 **

(1) 被災した病院の再建に向けた検討

- 被災した大東病院の再建に向けた増改築工事の実施
- 被災した沿岸3病院（高田・大槌・山田）の再建に向けた工事設計業務の着手
- 被災病院及び被災地域の基幹病院等の診療機能の確保

(2) 東日本大震災津波を契機とした災害時における対応

- 災害時における電気、通信手段等の確保

(3) 職員の生活環境の整備

- 職員公舎の修繕等
- 被災職員等に対するメンタルヘルスサポート

2 県立病院間の役割分担の明確化と特色ある医療の提供

(1) 県立病院群の一体的・効率的な運営

- 県立病院群の一体的運営の円滑化を図るため、これまでの運営状況を踏まえ、課題となっている事務部門の業務について、見直しを行います。

** 重点取組項目 **

① 一体的運営の円滑化

- 研修会の開催、事務マニュアル作成等による病院給与事務担当者のスキルアップ

(2) 地域の状況や各病院の特色などに基づいた各病院が担うべき役割と機能の発揮

- 地域診療センターについては、二次保健医療圏の基幹病院を中心に、他の病院も含めた連携強化を図り、円滑な運営に努めます。

また、空き病床の多い病院については、病棟毎の病床配置を見直します。

** 重点取組項目 **

① 地域診療センターの円滑な運営

- 地域診療センターの課題等について、運営協議会等で必要に応じて協議

② 病床規模の適正化

- 入院患者数の動向等に対応した病床適正化の推進

③ 民間移管の円滑な実施

- 沼宮内地域診療センターに係る岩手町が行う民間移管に向けた取組を支援

(3) 交通アクセスの確保

- 地域診療センターの患者が入院を必要とする場合に、患者及び家族について、地域診療センターと基幹病院等との間の交通手段を確保します。

** 重点取組項目 **

① 交通アクセスの確保

- 地域診療センターと入院先病院間の交通アクセスの確保

3 良質な医療を提供できる環境の整備

(1) 患者中心の安全・安心な医療の提供

- 医療の質の向上を図るため、病院機能評価の受審の推進、クリニカルパスの推進と充実に取り組むほか、安全・安心な医療を提供するため、医療安全関係組織の機能の発揮を図り、医療事故防止の徹底に努めます。

** 重点取組項目 **

①-ア 医療の質の確保《病院機能評価の受審の推進》

- 病院機能評価の受審（予定：中央・磐井・千厩・一戸）

①-イ 医療の質の確保《クリニカルパスの推進》

- クリニカルパス推進委員会開催によるパス推進に向けた取組施策の検討
- クリニカルパス研修会の開催

【数値目標】 クリニカルパス適用率 53%

①-ウ 医療の質の確保《病棟薬剤業務の推進》

- 薬物療法の有効性、安全性の向上に資するとともに、病棟における薬品の適正管理を促進するため、病棟薬剤業務を拡大

【数値目標】 中央・大船渡の2病院実施

② 医療安全対策の推進

- 医療安全管理専門員の配置及び業務のあり方等の検討
- 医療メディエーターの活用推進

③ 患者満足度の向上

- 患者満足度調査の実施及び調査結果に基づく業務改善の実施

【数値目標】 患者満足度調査

基本的な接し方 不満・やや不満患者の割合 6%以下

満足・やや満足患者の割合 56%以上

インフォームド・コンセント

不満・やや不満患者の割合 6%以下

満足・やや満足患者の割合 53%以上

(2) 病院の施設・設備の整備

- 既存施設の改修により環境の整備を図るほか、高度医療器械は機能分担の観点から効率的な整備の検討を行います。

** 重点取組項目 **

① 既存施設の改修

- ヘリポートの整備（大船渡、久慈）
- 南光病院病室間仕切工事の実施
- 建物一般整備の計画的、効果的な整備推進

② 高度医療機器の効率的な整備

- 医療機能分担及び一層の投資効果の観点から効率的な整備について検討
- ME管理機器の統一化（医療安全対策の推進）

(3) 医療情報システムの整備

- 医療の情報化と標準化、病院間の情報共有等を図るため、医療情報システムの整備を計画的に行います。

**** 重点取組項目 ****

① 電子カルテシステムの計画的導入

- 稼働病院における各種機能強化、カスタマイズ作業

② 医療情報データベースの構築

- 診療情報共有システムの機能強化

③ 診療情報データのバックアップ

- バックアップ要望が高いデータの扱いを検討

4 医師不足解消に向けた取組みの推進

(1) 医師確保に向けた取組み

- 医師の絶対数の増加及び地域別・診療科別の偏在の緩和に引き続き取り組むほか、臨床研修病院群が一体となった臨床研修制度の充実を図るなど、臨床研修医及び後期研修医の受入れに向けて取り組みます。

**** 重点取組項目 ****

① 医師の絶対数の増加

- 関係大学に対する継続した派遣要請
- 医師招聘活動の実施
- 義務履行猶予中の奨学生・修学生及び本県出身医学生等に対する義務履行促進
- 既招聘医師に対するフォローアップ
- 本県出身学生に対する県人会等での働きかけ

【数値目標】 H26. 4. 1 常勤医師数（後期研修医を除く） 対前年度比 10 人増

② 地域別・診療科別の偏在の緩和

- 基幹病院等による地域病院への支援体制の検討と実施
- 病院間等の診療応援の充実強化
- 地域病院担い手医師の育成（総合診療医育成プログラムのPR）
- 必要診療科・医師数の把握（圏域毎）

③ 臨床研修制度の充実

- 臨床研修体制の充実・強化（各種会議・研修会の開催等）
- 医学生に対するアピールの強化
- 臨床研修に係る病院事務担当者の体制強化

【数値目標】 26 年度採用臨床研修医マッチ数 56 人
H26. 4. 1 後期研修医数 66 人

(2) 魅力ある勤務環境への改善

- 現在勤務している医師の業務負担を軽減し、医師の離職の防止に向けた取り組みや、女性医師にとって働きやすい職場環境の整備を実施するほか、医師の処遇改善と支援の充実に取り組み、魅力ある勤務環境への改善を図ります。

** 重点取組項目 **

① 医師の業務負担の軽減

- 医療クラークの質的向上等

② 女性医師の支援

- 24時間保育・病後児保育の継続実施
- 県立病院勤務を希望する女性医師に対する職場復帰支援
- 勤務女性医師からの意見聴取及び支援策の実施
- 女性医師に配慮した環境整備の改善

③ 医師の処遇改善と支援の充実

- 定着支援策の継続検討
- 勤務医との意見交換の実施

5 職員の資質と満足度の向上

(1) 人づくり

- 医療の質の向上や医療環境の変化に対応するため、キャリアデザインに応じた計画的な人材育成を行うほか、職員研修プログラムの充実を図り、職員の資質向上に取り組みます。

** 重点取組項目 **

① 計画的な人材育成

- 医事部門：医事業務指導等による医事経営能力の向上、DPC業務マニュアルの作成・活用
- 薬事部門：認定薬剤師等の育成
- 診療放射線部門：キャリアデザインによる人材育成、品質管理・精度管理実務の専門職育成
- 臨床検査部門：超音波検査担当技師育成の推進
- 看護部門：認定看護師の育成、助産師研修の継続
- 栄養部門：新採用者実務研修会の開催、新人教育担当者の育成
- 視能訓練部門：実務者（指導者）研修の実施、部門別業務運営方針の策定
- 臨床工学部門：部門別業務運営方針の策定、職員配置計画に基づく業務の推進
- 医療社会事業部門：キャリアデザインの策定
- リハビリテーション部門：新採用研修・実務者研修の実施
- 臨床心理部門：職員配置計画・キャリアデザイン・業務マニュアルの作成
- 事務部門：事務主任級以上に係る人材育成プランの検討

② 職員研修の充実

- 平成25年度研修計画による各種研修の実施

【数値目標】 研修受講後の自己チェック（肯定回答率）
意識変化 90%以上、行動変化 90%以上

③ 職員への業務支援

- 人事考課制度の推進
- 育成面接者研修の実施

(2) 働きやすい職場環境

- 職場の状況や職員の意向にも配慮した多様な勤務形態の検討や、継続的な業務改善により仕事と生活の調和を図るほか、メンタルヘルスセミナーの実施などによる職員の健康サポートなど、働きやすい職場環境づくりに取り組み、職員満足度の向上を図ります。

**** 重点取組項目 ****

① 職員満足度の向上

- 職員満足度調査の実施
- 看護師の勤務環境改善取組み等の周知

② 仕事と生活の調和

- 出産休暇、育児休業職員に対する適正な補充
- 時間制看護職員の夜勤専従の正式導入
- 正規看護職員の夜勤専従の試行実施

③ 職員の健康サポート

- 職員定期健康診断、各種検診及び予防接種の実施
- メンタルヘルスセミナーの開催
- ストレスチェックの実施
- 被災した職員に対するメンタルヘルスサポート

6 安定した経営基盤の確立

(1) 事業運営体制の整備

- 医療制度改革や診療報酬改定などの環境の変化に的確に対応するため、病院経営マネジメントを強化するための研修を実施するなど、経営企画機能の発揮に向けて事業運営体制の整備に取り組みます。

**** 重点取組項目 ****

① 経営企画機能の強化

- 医事経営課長等会議の開催
- 医事業務指導の実施及びフォローアップ
- 診療情報管理士の活用推進
- 経営委員会の開催
- 会計制度見直しへの対応

② 病院経営マネジメントの推進

- 病院経営マネジメントに関する研修の実施
- 病院長の裁量権の拡充検討

③ 病院毎の経営目標の設定と進捗管理

- 平成25年度当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定
- 本庁と基幹病院との情報交換会の実施及び進捗管理

(2) 職員の適正配置

**** 重点取組項目 ****

① 職員の適正配置

- 看護部門：患者数や業務量等に応じた配置、育児休業者の計画的補充
- 医療技術部門：臨床工学技士や医療社会事業士の体制強化
病棟薬剤業務実施に向けた増員

(3) 収支均衡に向けた取組み

- 各病院の役割分担・連携及び紹介・逆紹介の推進による患者数の確保や診療報酬の適正算定等による収入確保、収益の状況に応じた費用の効率的執行など、収支均衡に向けた経営改善を実施するとともに、未収金の発生防止と回収等の対策を徹底し、個人未収金残高の縮減を図ります。

** 重点取組項目 **

① 収益の確保

- 平成 26 年度診療報酬改定への対応
- D P C 等収支分析の実施
- 診療単価増の取組強化
- 7 対 1 看護体制の導入検討
- 未利用資産の状況調査及び売却等の推進

【数値目標】 入院診療単価 42,036 円（基幹病院 50,008 円、基幹病院以外 21,618 円）
外来診療単価 11,435 円（基幹病院 12,812 円、基幹病院以外 8,399 円）
稼働病床利用率（一般・療養） 80.2%
平均在院日数（一般病床） 13.7 日
（基幹病院 12.8 日、基幹病院以外 20.3 日）
紹介率（基幹病院） 41.6%、逆紹介率（基幹病院） 33.0%

②-ア 費用の効率的執行《職員給与の適正化》

- 給料の特別調整額の減額措置（25年度時限措置）
- 医師に係る超過勤務手当見直しに伴う経過措置の実施
- 超過勤務縮減の取組

【数値目標】 給与費対医業収益比率 61.0%

②-イ 費用の効率的執行《材料費の抑制（薬品）》

- 後発医薬品の使用拡大（バイオシミラー（後発生物製剤）の導入推進等）
- 医療局一括契約の定期的な価格交渉による薬品費の縮減

②-ウ 費用の効率的執行《材料費の抑制（診療材料）》

- 医業収益に対する診療材料の適正な購入・管理（使用実績の比較分析等）
- 使用材料の整理統一及び廉価購入
- 特定保険医療材料の適正算定

【数値目標】 薬品費対入院外来収益比率 17.2%（税込）
後発医薬品使用割合（数量）35.0%、（品目）23.4%、（購入額）10.6%
診療材料費対入院外来収益比率 9.54%（税込）

②-エ 費用の効率的執行《業務委託の検討》

- 業務委託の推進（調理業務委託の導入推進等）
- 業務委託導入後の見直し

②-オ 費用の効率的執行《経費の節減》

- 温室効果ガス削減の取組継続
- 省エネ取組状況、エネルギー使用量のとりまとめと情報提供

【数値目標】 温室効果ガス（CO₂）削減 年平均 1.1%削減

③ 個人未収金の縮減

- 病院全体の取組による発生防止、回収の徹底
- 未収金管理体制の強化
- 医事担当職員のスキル向上
- 債権回収委託の拡大

【数値目標】 過年度個人未収金残高 624,000 千円以下
 年度内個人未収金残高 対医業収益比率 4.6%以下
 債権回収委託導入による回収額 5,000 千円

7 地域連携と地域との協働による病院運営

(1) 役割分担と機能連携の推進

- 二次保健医療圏全体で地域医療を支える体制づくりを進めるとともに、基幹病院での地域連携パスの導入を推進し、地域における役割分担と機能連携を進めます。

** 重点取組項目 **

① 地域医療に関する取組みへの参画

- 圏域連携会議等への参加

② 市町村との連携の推進

- 県立病院運営協議会を通じた市町村との意見交換等による連携の推進

③ 地域連携パスの拡大

- 地域連携パス導入・推進の支援

(2) 地域との協働による病院運営

- 医師の過酷な勤務環境や経営状況などについて、地域に対する情報発信を積極的に行いながら、県立病院の現状について情報を共有し、地域との協働による病院運営に取り組みます。

** 重点取組項目 **

① 広報活動の推進

- 市町村の広報事業等を通じた情報提供
- ホームページの更新・活用

② 運営協議会等の開催

- 県立病院運営協議会の開催
- 地域懇談会の開催

③ ボランティアとの協働

- 病院ボランティアの受入推進

④ 病院等施設の空きスペースの活用

- 沼宮内：岩手町と医療法人の協議状況について情報収集
- 紫波：通所リハスペースのデイサービス活用について紫波町と協議
- 住田：地域医療対策協議会（住田町主催）への参加等による情報収集
- 大迫、九戸、花泉：併設特養の経営状況の把握